

公開シンポジウム

「動き出したグローバルCOEプログラム：地域研究の展開と研究教育体制の課題」 の開催について

1. 主 催 日本学術会議地域研究委員会、地域研究コンソーシアム、地域
研究学会連絡協議会、東北大学東北アジア研究センター
2. 日 時 平成 19 年 11 月 11 日（日）10：30 ～ 16：40
3. 会 場 東北大学片平さくらホール 2 階会議室
（仙台市青葉区片平二丁目 1 - 1）

4. プログラム

開会の挨拶と趣旨説明：家田 修（北海道大学スラブ研究センター・地域研究コ
ンソーシアム会長・日本学術会議連携会員）

報告

- 1) 「コーバスに基づく言語学教育研究拠点」
峰岸 真琴（東京外国語大学地域文化研究科地域文化専攻）
- 2) 「コンフリクトの人文科学国際研究教育拠点」
小泉 潤二（大阪大学人間科学研究科人間科学専攻・日本学術会議連携
会員）
- 3) 「文化創造と社会的包摂に向けた都市の再構築」
佐々木雅幸（大阪市立大学都市研究プラザ）
- 4) 「アジア視点の国際生態リスクマネジメント」
松田 裕之（横浜国立大学環境情報研究院自然環境と情報部門）
- 5) 「放射線健康リスク制御国際戦略拠点」
高村 昇（長崎大学医歯薬学総合研究科放射線医療科学専攻）
- 6) 「生存基盤持続型の発展を目指す地域研究拠点」
杉原 薫（京都大学東南アジア研究所・日本学術会議連携会員）
河野 泰之（京都大学東南アジア研究所）
- 7) 「アジア地域統合のための世界的人材育成拠点」
天児 慧（早稲田大学アジア太平洋研究科国際関係学専攻・日本学術
会議連携会員）

日本学術会議からの報告

「日本における地域研究の教育・研究体制の現状とその改革」

油井大三郎（東京女子大学・日本学術会議会員・日本学術会議地域研究
委員会委員長）

総括討論

閉会の挨拶：加藤 普章（大東文化大学・地域研究学会連絡協議会事務局長・日本学術会議連携会員）